

市議会3月定例会行政報告

高速交通網整備のため努力など

市議会三月定例会が招集された三月七日、畠山市長が行政報告をしました。その中から主なものをお伝えします。

なお、三月定例会で審議された議案などについては、次号でお知らせします。

63年度水田農業確立対策及び米需給均衡化緊急対策

昭和六十二年度から実施された水田農業確立対策により、全国の水田の三〇％に相当する七十七万ヘクタールの転作が行われまし

たが、六十二年産米の作況が一〇五と、四年連続の豊作を記録したことや、米の消費減少の速度が増したことが要因となり、政府の持ち越し在庫の上限を八十万トン上回る二百三十万トンが見込まれています。このため、政府では、米需給均衡化緊急対策を六十三、六

十四年の二カ年にわたり実施することになりました。

緊急対策により、大館市の転作等目標面積は、六十三年度は二〇増の二四・六％となり、これは上川沿、二井田地区の合計水田面積とほぼ同じ九百八十ヘクタールとなります。

他用途利用米については、転作目標面積の内数として扱われることから、転作目標面積に一六・五％を乗じた配分し、前年同様の扱いとするものです。

花岡地区入会権確認請求事件の和解

十八年間にわたった花岡地区入会権確認請求事件も、市議会、地元の皆さんの大変な協力のもと三月二日和解しました。今後、訴外地林野の取扱いについて地元とよく協議のうえ、組織作りを促進しながら高度な有効利用を進めてまいりたいと考えます。

アメッコ市について

四百年の節目を迎えた今年のアメッコ市は、両日とも好天に恵まれ事務局発表十八万人の人数、例年以上に大盛況でした。

新企画の「裸みこし」や「ジャンボアメギネスに挑戦」など市民が参加できるイベントの定着化と併せ、県内はじめ、青森県、岩手県への宣伝キャラバン巡遊、ポスター、チラシによる宣伝が成果に結びついたものと思います。

また、期間中の駐車場不足についても、今年は市営大館球場の開放や市民アマチュア無線クラブの協力により解消の一助となったものと感謝しています。

今後は、誘客促進及び受け入れ態勢の再点検、来客サービスを図ることなどを含め一層の努力と指導をしてまいりたいと思っています。

大館・鷹巣地区高規格幹線道路整備促進期成同盟会

日本海沿岸東北自動車道は、国土開発幹線道路として認定され、日本海側の高速交通網もいよいよ整備される運びとなりました。

また、大館西バイパスも高規格自動車専用道路として整備するよう名称も大館西道路と変更し、建設省直轄で進められています。

この建設を促進し、日本海沿岸道の全線開通を早める具体的な運動を進めるため鹿角・大館・北秋田の二市七町一村で二月十三日「国道七号線大館・鷹巣地区高規格幹線道路整備促進期成同盟会」を発足させました。

県都(秋田市)との時間短縮のためにも早期完成に向けて、今後強力な運動を進めてまいりますのでよろしく願います。

市長の対話ノート



No.170

燃えよう

カルガリーでの冬期オリンピック。そして秋にはソウルオリンピック。まさに「スポーツの一年」になりそうです。

国内に目を向けると、桂高校スキー部が第三十七回全国高校スキー大会で見事総合優勝の偉業を果し、とかく停滞がちな市民に大きな刺激と感動を与えてくれました。

「優勝」、大変な栄光と感激ですが、私たちはその結果だけを評価する傾向が強過ぎ、その結果を得るための言語では表現出来ない程の困難を克服したことを見落しがちです。

オリンピックの年だからではありませんが、私達がスポーツを振興しようとするのは、目標に向って努力する経過とその結果を同時に重視することがスポーツだけでなくあらゆることに通ずるからであります。結果だけ重視して相手の足(欠点)を引っぱるのではなく、己れに勝って(弱点を克服)、相手に勝ろうとすることが大事です。

今私達に求められていることは「競争」すべきことと「協調」すべきことを混同しないで、スポーツ精神で、フェアに燃え、燃焼し切ることで、結果は正しく出るものと信じています。

畠山 健治郎